



【戦評シート】

平成28年5月15日(日)	協会名:	秋田県 バasketボール協会									
場所: 鹿角トレーニングセンターアルパス	記入者:	武石 康隆、増田 良									
チームA 湯沢南	63	<table border="0"> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>20-21</td> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>42</td> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>チームB 横手明峰</td> </tr> <tr> <td>9-2</td> </tr> <tr> <td>15-7</td> </tr> <tr> <td>19-12</td> </tr> </table>	}	20-21	}	42	}	チームB 横手明峰	9-2	15-7	19-12
}	20-21	}		42		}		チームB 横手明峰			
	9-2										
	15-7										
	19-12										

スターター	チームA:	#4, #5, #6, #7, #9
	チームB:	#5, #6, #7, #8, #21
ディフェンス (試合開始時)	チームA:	<input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB:	<input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

男子決勝は、第1シード湯沢南と第2シード横手明峰の対戦となった。

第1ピリオド、開始早々に横手明峰#5阿倍がジャンプシュートを決め、先制。それに対し、湯沢南#6高橋がゴール下でシュートを決める。さらに#6高橋が続けてドライブからのシュートを入れる。湯沢南#7佐藤がゴール下のリバウンドからシュートを入れる。対して横手明峰も#5阿倍、#6岸の果敢なドライブから得点を重ねていき、互いに一步も譲らない。湯沢南は相手のファウルからフリースローを得るも生かし切れない。残り1分40秒に横手明峰#7井筒が3Pシュートを決め、さらに#6岸がゴール下のシュートを決め、点差を広げようとする。しかし、湯沢南は#6高橋がフリースローを2本確実に沈め、スクリーンプレーから#9高橋がジャンプシュートを決めて食らいついていく。湯沢南20-21横手明峰で第1ピリオド終了。

第2ピリオド、開始1分半は互いに得点を許さない展開。しかし湯沢南#7佐藤がフリースローを1本決めて21-21。残り5分48秒で横手明峰がタイムアウト。残り5分になるまでお互いにアウトサイドのシュートやペイントエリア付近からのシュートを狙うも得点につながらず膠着状態。5分をきったところで湯沢南#7佐藤が高さを生かしたゴール下でのパワープレイからシュートを、連続で決め25-21と徐々に点差を広げ始める。なかなか得点に結びつけることができずにいた横手明峰も残り3分をきったところで#8佐野がシュートを決め、離されまいと食らいつく。対する湯沢南は#9高橋のリバウンドシュート、#5遠田のジャンプシュートで得点差を広げていく。ディフェンスで粘る横手明峰は、#6岸が相手オフェンスチャージングを誘い、マイボールにすると、#8佐野が終了間際にシュートを放つも惜しくも決まらず。湯沢南29-23横手明峰で前半終了。

第3ピリオド、開始すぐに横手明峰が#5阿倍のドライブからのシュートを決める。さらにディフェンスリバウンドからのファストブレイクで#7井筒がシュートを決める。湯沢南も#7佐藤のディフェンスリバウンドでセカンドチャンスをもものにさせまいと奮闘。明峰は相手のファウルを誘い、フリースローを得るも、生かし切れずにいると湯沢南#5遠田が3Pシュートを決める。明峰も#5阿倍がドライブからのシュートを決めるも、すかさず湯沢南は#6高橋のジャンプシュート、#7佐藤のリバウンドからのシュートでたたみかけて40-30の10点差。たまた横手明峰はタイムアウト。タイムアウト後も湯沢南のディフェンスに得点を阻まれ、なかなか得点できない。対して湯沢南は#5遠田や#7佐藤のゴール下でのシュートでさらに点差を広げていく。湯沢南44-30横手明峰で第3ピリオド終了。

第4ピリオド、湯沢南#4千葉のシュートでスタート。続けて#5遠田もリバウンドからの合わせのプレーから得点。横手明峰も#6岸がドライブからのシュートを決め、離されまいとする。さらに#21米澤のドライブからのシュートで得点差を縮めていこうとする。しかし、湯沢南の#9高橋のインサイドのシュートや#8高橋が確実にフリースローを決めて徐々に点差を拡げていく。残り3分9秒で明峰はオールコートマンツーマンでプレッシャーを強めてマイボールにしていこうとすると、湯沢南がタイムアウト。横手明峰は粘り強いディフェンスで湯沢南のミスを誘い、#11高橋の3Pシュート、#7井筒のリバウンドからのシュートで食らいついていく。湯沢南は#7佐藤がゴール下での強さを見せ、リバウンド、ゴール下でのシュートを決めてさらに突き放す。最後は湯沢南#5遠田がゴール下でのシュートを決める。

湯沢南63-42横手明峰で試合終了。

湯沢南中学校は10年ぶり2度目の優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。